

平成30年度第2回豊田市図書館協議会 議事録

日 時：平成31年3月15日（金）午後2時～午後4時

場 所：豊田中央図書館6階多目的ホール

出席者：委 員 8名

事務局 7名

関係課 6名

指定管理者 3名

（1）図書館運営について

事 務 局：平成30年度の図書館運営及び平成31年度の事業計画について説明

指定管理者：図書館運営について説明

事 務 局：中央図書館 指定管理者の更新について説明

委 員：資料中に和書と洋書などの細かい蔵書割合を載せてもいいのではないか。また新規登録者数なども年代別で掲載しても良いと思う。

事 務 局：和書や洋書の蔵書割合や新規登録者数は、図書館事業概要に掲載している。

委 員：仕様書は、外国籍の市民がいることを意識して作成するべきである。

事 務 局：検討する。現在も、TIA（国際交流協会）などと連携して事業を行っている。

委 員：入館者数を重視している理由は何か。

事 務 局：駅前にある図書館として、まちなかを盛り上げる役割を担っている。また、図書館を含めたまちなかの回遊を図るため。

委 員：入館者数は増加しているが、貸出冊数は減少している。理由は何か。

事 務 局：学生による勉強目的の利用が多いと思われる。どう貸出に繋げていくかが課題である。

委 員：指定管理者の総括評価を○（良好）を◎（優良）にするにはどういった工夫が必要か。

事 務 局：仕様書に書かれている事業を的確に実施するだけでは◎（優良）にはならない。さらに工夫や改善をしたうえで事業を実施し、その積み重ねが大切である。

委 員：評価に利用者アンケートでの回答は反映されているか。

事 務 局：利用者アンケートの回答は反映されていない。ただ、頂いた意見は日々の業務に活かし、改善を行っている。

- 委員：児童コーナーはもっと話しかけやすい雰囲気になると良いと思う。
土日の利用者は多いが、スタッフ数は少ないように思うがどうか。
- 指定管理者：土日は平日より多くのスタッフで対応している。声をかけやすい雰囲気になるよう努める。
- 委員：図書館は様々な人が来る施設である。指定管理者も行政と繋がっている公共施設として、様々なことにアンテナを張る必要がある。
- 事務局：市役所の他部署の行う研修なども活用し、誰もが使いやすい図書館を目指したい。

(2) 豊田市子ども読書活動アクションプランについて

- 事務局：平成30年度取組実績について説明
- 関係課：平成30年度取組計画について説明
- 委員：学校の文化祭でビブリオトークを見た際、本とは無縁そうな生徒が楽しそうに発表を聞いていた。もっと本と触れる機会を増やしたい。
- 事務局：中央館で開催したビブリオトークでも様々な中高生が参加してくれた。同年代の学生や友達が紹介している本は読みやすいと思う。また、学校図書館司書研修会や教員の研修会でもビブリオトークを実施しており、情報発信を続けていく。ビブリオトークが本との出会いに繋がる。本の楽しさを知るきっかけとなると良い。
- 委員：小学生は休憩時間によく本を読んでいるが、中学生は部活動などで忙しく読書の時間が取れていない。少しでも本を楽しむ時間が取れると良いと思う。
- 委員：学校の養護教諭などと連携し、より生徒に近い意見を参考にして選書してはどうか。
- 事務局：学校では年度初めに教員へアンケートを取り、図書を購入している。
- 委員：市全体で情報共有できると良いと思う。
- 委員：2歳児向けの講座の参加者が少ないのが少し残念。こども園でチラシを配布するなど協力できることがあれば行いたい。
- 委員：「子ども読書活動アクションプラン」は6課が連携して行っているが、取りまとめや連携の調整はどこの部署が行っているのか。
- 事務局：中心の役割を担っているのは図書館管理課である。

以上